

## 令和5年度 自己評価について

### 保育者の自己評価から

保育者には、以下のような項目の自己評価を課した

四段階評定・A：十分に達成されている B：ほぼ達成されている

C：取り組んでいるが、不十分 D：取り組みが不十分

- ① 保育理念の「見守る」ことを理解し、実践している  
A:14.3% B:57.1% C:25.7% D:2.9%
- ② 子どもの個人差を受け入れ、一人ひとりの違いに配慮している  
A:25.7% B:45.7% C:25.7% D:2.9%
- ③ 子どもの興味関心に応じて、臨機応変に保育を実践している  
A:5.7% B:45.7% C:42.9% D:5.7%
- ④ 子どもが選択できる機会を与えている  
A:14.3% B:57.1% C:22.9% D:5.7%
- ⑤ 子ども同士のかかわりを促す援助をしている  
A:25.7% B:54.3% C:14.3% D:5.7%
- ⑥ 場面に応じた声の大きさを心がけている  
A:17.1% B:45.7% C:34.3% D:2.9%
- ⑦ 行事はねらいを明確にして、子どもにとって負担がないように配慮している  
A:11.4% B:60.0% C:22.9% D:5.7%
- ⑧ 生活しやすい環境設定をしている  
A:8.6% B:37.1% C:51.4% D:2.9%
- ⑨ 子どもの興味関心に応じて、遊びのコーナー等の環境設定をしている  
A:2.9% B:40.0% C:51.4% D:5.7%
- ⑩ 整理整頓を心がけている  
A:28.6% B:60.0% C:11.4% D:0%
- ⑪ 園内での情報共有ができていない  
A:8.6% B:51.4% C:34.3% D:5.7%
- ⑫ 保護者との信頼関係を築けるよう努めている  
A:22.9% B:60.0% C:17.1% D:0%
- ⑬ 保護者の思い・要望・苦情に対して、真摯に対応している  
A:20.0% B:57.1% C:20.0% D:2.9%

- ⑭ 研修に参加する機会が保証されている  
A:40.0% B:40.0% C:14.3% D:5.7%
- ⑮ 子どもの健康状態を把握し、対応できている  
A:31.4% B:54.3% C:14.3% D:0%
- ⑯ 食物アレルギー等に対応して、事故のないよう配慮できている  
A:57.1% B:28.6% C:8.6% D:5.7%
- ⑰ 感染症対策を十分にしている  
A:28.6% B:48.6% C:22.9% D:0%
- ⑱ 怪我等があった時に、迅速で適切な対応を行っている  
A:40.0% B:48.6% C:8.6% D:2.9%

保育理念については、引き続き園内研修等で共有していく。

#### 保護者アンケートから

解答率 76%

- ・当園の保育方針について理解しているか  
理解している 96.9%
- ・当園の保育方針について共感できているか  
共感できる 97.7%
- ・子育てに関する相談等について 相談、意見、苦情を伝えやすいか  
伝えやすい 76.3% 伝えづらい 9%

保育方針の理解、共感については、100%をめざしていく。

相談しやすい雰囲気と信頼関係については、改善を要する。

## 考 察（課題と改善策）

- 子どもの安全確保は最優先で改善すべき
  - 保育理念である子どもの「見守り」、保育者と子どもの「適切な距離感」の深い理解が必要
  - 行事が子どもにとって負担であると感じる保育者が多い
  - 環境設定がうまくできない
  - 職員同士の情報共有に課題がある（非正規職員中心に）
  - 保護者対応に苦勞している
  - 全職員の研修参加が保証されていない
  - 保育理念共有の場が必要
- 園内研修にて、安全管理のリスクマネジメントを学ぶ機会を最優先で持つ  
研修を通して、園全体での安全管理の徹底システムを構築する
- 職員の情報共有の徹底をする（ICT ツール使用）
- 保育理念について話し合う機会、情報発信する機会を持つ
- アプリ「コドモン」を使用して、保護者への情報発信に努める
- 園見学を含めた研修を行い、環境設定を学ぶ機会を持つ